

# ふるさと探訪

## 第45回 市民の森



皆さんは、市民の森に行ったことがありますか。市民の森は、旧西条市の市制40周年事業として総事業費約10億3100万円をかけ、昭和56年度から平成2年度まで

の10年間の工期で、八堂山の東斜面約19・3ヘクタールに建設されました。

金剛院を過ぎ、市民の森を上り始めると20種2000本の梅の木が植栽されている梅林園が見えてきます。毎年2月には梅まつりが開催され、市内外から梅の香りや花を楽しみに多くの人が訪れます。(11ページに、今年の梅まつりの記事を掲載)

梅林園を過ぎると、全国各県の県木を植えている県木の森や芝生が広がる自由広場があり、その先には西条市を一望できる考古歴史館があります。同館には、八堂山から発

掘された弥生時代の土器などが常設展示され、毎月の特別展示なども見逃せません。道路を終点まで登ると、そこには子どもたちが大好きな冒険広場があります。人工芝滑り台や延長96メートルのローラー滑り台など、まさに自然の中のちびっ子天国です。ただし、市民の森入口のゲートが11〜3月は21時、4〜10月は22時に閉鎖されますので、十分ご注意ください。

■住所 福武乙

■駐車場 あり(無料)



▲ 考古歴史館からの眺望  
(H20.11.19撮影)

◀ 昨年の梅まつりの様子  
(H20.2.17撮影)

